

第2回 上越市教育の日制定記念事業実行委員会 次第

日時：平成26年8月27日(水)

午後3時から

会場：教育プラザ201会議室

1 開会

2 あいさつ

3 説明・協議

(1) 上越市教育の日シンボルマークのデザインについて 資料1

(2) 上越市教育の日の合言葉について 資料2

(3) 上越市教育の日制定記念式典について 資料3

4 その他

5 閉会

第2回上越市教育の日制定記念事業実行委員会 (26年8月27日)

会場：教育プラザ事務所棟 201会議室

入口

天野副委員長○

戸北委員長○

上越市教育委員会

中野 敏明 委員 ○

高田文化協会

河村 一美 委員 ○

上越市スポーツ推進委員会

今井 一郎 委員 ○

地域青少年育成会議協議会

藤井清比古 委員 ○

小中学校PTA連絡協議会

大嶋 慶子 委員 ○

上越市私立幼稚園連盟

○ 安田 詮秀 委員

上越市小学校長会

○ 大山 賢一 委員

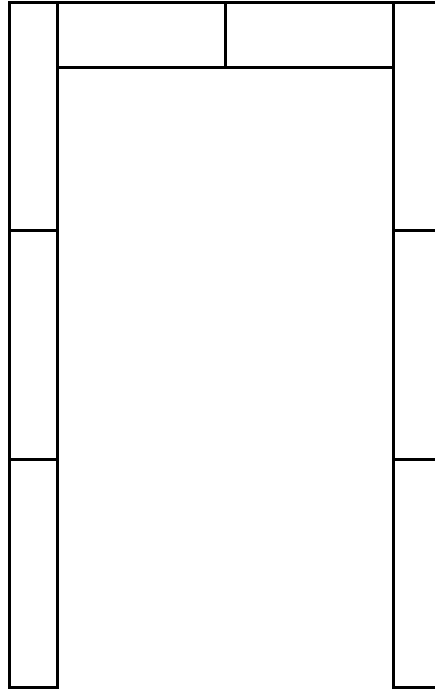
上越市中学校長会

○ 渡邊 千一 委員

上越地区高等学校長協会

○ 荒木 佳樹 委員

青年会議所
市川委員欠席



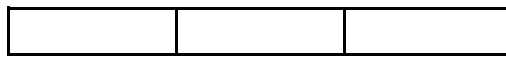
○ 内藤副課長

○ 鬼木参事

○ 野澤部長

○ 早川課長

入口



○ 渡邊主任

○ 鈴木係長

○ 吉田課長

○ 笹川課長

○ 中西課長

○ 國元課長

傍聴席

報道席

上越市教育の日シンボルマークのデザイン 選考要領

1 デザイン募集の目的・内容

上越市教育の日を市民に周知する手段とするとともに、市民が日ごろから教育に関心を持って取り組めるようにするため、上越市教育の日の趣旨をイメージでき、子どもから大人まで幅広く親しまれるシンボルマークを作成することとし、デザインを市民に公募した。

2 応募状況 342 点（小学生 282 点、中学生 46 点、高校生・一般 14 点）

3 入選作品 最優秀賞[採用作品] 1 点、優秀賞 2 点

4 選考手順・方法

(1) 事前審査（事務局による絞り込み） 8 月下旬

応募点数が多く、小学生から一般まで作品のレベルに差があることから、実行委員会委員による一次審査の前に、教育委員会事務局による審査作品の絞り込みを行う。

- ・小学生、中学生、高校生・一般に区分し、傾向が類似する作品に分類し、その中から優れている作品を審査員の合議により選定。
- ・審査は、美術に見識のある教育委員会事務局職員が行う。

(2) 一次審査（実行委員会委員による選考） 8 月 27 日

事前審査で絞り込んだ作品から、各委員が優れている作品を選び、全員の結果を集約して得票数の上位から区分ごとに数点に絞り込む。

- ・審査は、会議室に展示した作品を観て行う。

(3) 二次審査（専門家による選考） 9 月上旬～中旬

一次審査で選ばれた作品について、得票数などを考慮しながら、専門的視点から 6 点に絞り込むとともに、必要に応じて作品の補正を行う。

- ・審査・選考作品の補正は、上越教育大学の阿部靖子教授に依頼。

(4) 最終審査（実行委員会委員による選考） 9 月下旬

二次審査で選ばれた作品から、最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点を選定

応募点数と選考する概ねの作品数

| 区 分 | 小学生 | 中学生 | 高校生・一般 | 計 |
|-------------|-----|-----|--------|-----|
| 応募点数 | 282 | 46 | 14 | 342 |
| 事前審査（事務局） | 40 | 10 | 10 | 60 |
| 一次審査（実行委員） | 6 | 3 | 3 | 12 |
| 二次審査（専門家） | 2 | 2 | 2 | 6 |
| 最終審査（実行委員会） | 1 | 1 | 1 | 3 |

5 審査基準

- (1) 未発表でオリジナルなもの（独自性）
- (2) 目的に合っているもの（本市の教育施策の推進との関連性）
- (3) 活用方法に広がりがあるもの（可用性）
- (4) 世代を超えて親しみやすく、わかりやすいもの（好感度、明瞭性）
- (5) 単色、縮小サイズ印刷等にも対応ができるもの（利便性）
- (6) 上越市らしいもの（印象）

上越市教育の日合い言葉(案)

1 内容

委員の皆様の考えの共通点から、①言葉に関するもの ②思いやりに関するもの ③社会性に関するもの ④健康に関するもの ⑤夢・志に関するもの で具体的な内容とする。

2 数

覚えやすさから、5つ程度とする。

3 文末

簡潔な形として、「～しよう」か「～します」のどちらかに整える。

4 全体のくくり

上越市の歴史や伝統を踏まえ、上越市らしさが表象できるようにする。

5 案

◆例示 A

上越市教育の日

義の心をつなげよう

- 自分からあいさつをしよう(します)
- 人のためになることをしよう(します)
- 約束やきまりを守ろう(守ります)
- 早寝・早起き・朝ごはんをしよう(します)
- 進んで学び、夢・志をもとう(もちます)

◆例示 B

上越市教育の日

義の心をつなぎ、志をもとう

- きれいな言葉をつかおう(します)
- だれにでもやさしくしよう(します)
- うそや卑怯なことはやめよう(しません)
- よく食べ、よく体を動かそう(動かします)
- ふるさとを愛し、夢・志をもとう(もちます)

◆例示 C

上越市教育の日

ふるさとに学び、義の心と志をもとう

- あいさつをしよう(します)
- 人助けをしよう(します)
- フェアプレイをしよう(します)
- よく体を動かそう(動かします)
- 夢・志をもち、進んで学ぼう(学びます)

※ 委員の皆様の合い言葉を簡潔にまとめてみました。その中で比較的共通するものを色で示してみました。

- が、あいさつに言葉遣いにかかわるもの
- が、思いやりや親切等にかかわるもの
- が、食や体、生活にかかわるもの
- が、規則尊重や自律、自制等にかかわるもの
- が、学びや志、挑戦等にかかわるもの

義の心を忘れずに

- 1 卑怯なふるまいはやめよう
- 2 人のためになることをしよう
- 3 人に迷惑をかけないようにしよう
- 4 ありがとう、ごめんなさいを言おう
- 5 きれいな言葉を使おう
- 6 読書をしよう

かかわろう

子ども達や学校・地域と

- ・自分からあいさつできる人を育てよう
- ・暖かい心を育てよう
- ・広い視野をもとう
- ・進んで行動する力を育てよう
- ・子どものがんばる力を応援しよう

- ① 失敗を恐れずチャレンジする子
- ② 得意なものが1つでもある子
- ③ 我慢できる子、粘り強い子
- ④ 集中して学習や物事に取り組める子
- ⑤ 静かに本を読んで、物事が考えられる子
- ⑥ 自分のよさが言える子
- ⑦ 自分の思いを伝えられる子
- ⑧ 自分の行動を説明できる子
- ⑨ 仲間と工夫して遊べる子
- ⑩ たくましさを持っている子
- ⑪ 感謝の気持ちを表現できる子
- ⑫ 思いやりのある子
- ⑬ 誰とでも同じように接することのできる子
- ⑭ リズムある生活のできる子
- ⑮ ふるさとを愛し、ふるさとに貢献できる子

上越人の十の義（第一義）

- ・うそをつきません。
- ・素直な心で話を聞きます。
- ・友達や隣人を大切にします。
- ・困っている人を助けます。
- ・自分からあいさつします。
- ・自分勝手はしません。
- ・苦しくても我慢します。
- ・きまりや約束を守ります。
- ・フェアプレイをします。
- ・命を大切にします。

- 相手の立場になって考えましょう。
- きちんとした言葉づかいをしましょう。
- 素直な心を身につけましょう。
- 集団で行動するときは秩序を守りましょう。
- 決められた時間、約束の時間を守りましょう。
- 厳しさと優しさを持ちましょう。
- 自分自身の理想像を持ち、それを目指しましょう。
- あらゆる人に感謝の気持ちをあらわしましょう。
- 笑顔で明るく挨拶しましょう。

- 1 誰にでも優しくしましょう
- 2 明るくさわやかな挨拶をしましょう
- 3 みんなで子育てをしましょう
- 4 好き嫌いなく食べるようにしましょう
- 5 毎日、汗ばむくらいに体を動かしましょう
- 6 年下の人のお手本になるようにしましょう
- 7 いつまでも学び続けましょう

子ども対象(中心)で、投げかけタイプ(B)は焦点がはっきりすると思ひ

■郷土を大事にする文化の育成(学校を中心とする郷土の良さを知ってもらひ、良いところを発信できる郷土力の育成を図るもの)

「学校のお宝をさがそう」

「地域のいいところをさがそう」

「地域の山、川、海・・・を調べよう」

「校歌に出てくるところをたずねてみよう」

■義のところが生きる習慣育成

「みんな元気で明るいあいさつ」

「ここはきれいに、町もきれいに」

「お年寄りと話をしよう」

「みんなのために汗をかこう」

「早寝早起き朝ごはん」

「自分の得意技をのぼそう」

えちご上越 この町が好きです宣言

- 1 この町の子ども達はお年寄りを大切にします。
- 2 この町の歴史・文化を子ども達に教えます。
- 3 この町を優しく大きく見守ります。
- 4 この町を美しくします。

謙信公・義の心をつなげよう えちご上越あいうえお宣言

- 1 あいさつをしよう。
- 2 いのちを大切にしよう。
- 3 うそをつくのをやめよう。
- 4 えるものは多くとり入れよう。
- 5 おもいやりを持とう。

Happy City 上越

幸せを想像しよう

それは周りの人が笑顔になること
すると自分も笑顔になる

それはみんなが幸せになること
みんな考えて幸せになろう

幸せな街 上越市

〈家族とともに〉

一日は家族がそろい朝食からはじめる

規則正しい生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)を築く

勉強は家庭でしっかりやりきる

地域の行事には親子いっしょに参加して楽しむ

家族みんなで約束やきまりを守る

〈心を育てる〉

思いやりが自分を強く美しくする

お互いの認め合いが尊敬と信頼を強くする

世の中で支え合い励まし合って幸せになる

正しいことは正しい、悪いことは悪いと知って、ゆるぎない
がまん強く、しんぼう強く、ねばり強く

〈学びのすすめ〉

学習は自分をつくり、未来をつくる

お年寄りの知恵に学び、世の中の知識に学び、自分を磨く
たくさん本を読み、いろいろ体験して、大きな夢をもつ

地域を知る、日本を知る、世界を知る

○スローガン

みる人 する人 ささえる人

みんなで学習 教育の日(月間)

○合い言葉

ホラ、ここに 輝やくひとみ(いのち) 君の笑み

○おあしす運動

- ・おはよう
- ・ありがとう
- ・しんせつ
- ・すみません

〈内容〉いくつかのジャンルにまとめ、ジャンルごとに一つ以上の内容を決める。
例えば次のようなジャンルで。

- ・挨拶や言葉遣いに関わるもの
- ・社会の中での行動や態度に関わるもの
- ・思いやりや誠実さなど心に関わるもの
- ・学びや夢等に関わるもの
- ・生き方や生活の基本に関わるもの

〈合言葉の数〉

10程度

〈文末表現〉

「～よう」「～します」などの意思をあらわす表現

〈全体のくくり〉

上越地域の歴史文化や精神を象徴しているもの、家庭のなかで語り継がれてほしいもの。

例 「 義のこころをもって、正しく、強く、優しく。 」

合言葉についての考え方

- ・ 内容について

謙信公の『第一義』が上越の特徴であり、義の心は『いじめ問題』の解決にも通ずるものがあります。また、前島密翁のように志をもって社会のために役立つ人材の育成を目標とすることも重要だと思います。『義・公・立志』の考え方は戦後軽んじられて来た事柄でもあり、上越の特徴とも言えるこの3つの概念を含むスローガンを中心に考えたらどうでしょうか。

- ・ 合言葉の数について

一時的なものとしないうちにも、小中学生が覚えやすい5つくらいが望ましいのではないのでしょうか。

- ・ 合言葉の末尾について

努力目標として『～をしよう』『～をしましょう』の表現が妥当と考える。『～をします』は押しつけ的な感じがします。『～な子』を使用するのであれば、前文に『育てよう』または『めざそう』が必要となり煩雑です。

- ・ 全体のくくり

内容と関連して、『義の心をつなげよう』的な表現が良いのではないのでしょうか。

愛言葉ですが、次のように考えました。

1 内容

いただきました資料にある色分けした5種類の内容（皆さんの意見が集約されたもの）で構成するとよいと考えます。

2 数

5つになります。

3 文末

「～しよう」のタイプがよいと考えます。

4 全体のくくり

「すこやかな市民とまち」

市民の健やかな成長と健やかなまちづくりが、上越市の未来が明るいものになることにつながると考えます。

5 例示

す 素直な心と思いやりを大切にしよう

こ 心も体も健康な生活をしましょう

や 約束やきまりを守りましょう

か 書いたり読んだりし、進んで学びましょう

に にこにこ笑顔であいさつしましょう

1 全体として配慮したいこと

- ・各地域青少年育成会議及び各学校運営協議会（CS）に於いても、其々の地域の実態に即した「目指す子ども像」が話し合われているのではないか。
- ・その「目指す子ども像」を具現化するために、合言葉的な子どもの姿を考え「こんな子ども」に育てようと学校・家庭・地域の決まっているところもあるのではないか。
- ・そうすると、「～しましょう」「～の子」というような、具体化した合言葉が市全体の目指す子ども像となると、市全体と地域との間で二元化または地域での混乱がおきないか。

2 そのためには

- ・たくましい心と体をもつ人
 - ・感謝と思いやりの心をもつ人
 - ・進んで学ぶ人
 - ・地域や社会に貢献する人
- のように、「教育目標」的なまとめで表現してはどうか。
- ・それを受けて、各地域でさらに具体化するのも良いのではないか。

- 例)
- たくましい心と体をもつ人… ・失敗を恐れずチャレンジする子
 - 感謝と思いやりの心をもつ人… ・明るくさわやかなあいさつをする子
 - 進んで学ぶ人 … ・静かに本を読んで、物事が考えられる子
 - 地域や社会に貢献する人 … ・ふるさとを愛し、ふるさとに貢献できる子

謙信公、義の心を
つなげよう。

えちご上越
みいうえ
の合言葉

1
} 5
の合言葉

のものが良いと思いました。

「かがわろう 子供達や学校、とて地域と」

合言葉

- 明るく元気にあいさつをしよう
- いのちを大切にしよう
- 思いやりのある子供達を育てよう
- ありがとう、ごめんねをいを言おう
- お年寄りを大切にしよう
- だれにでもしんせつにしよう
- いじめはしません

教育の日は 恩恵・幸福ばかりの日ではない
と思います。大人の生涯教育という視点で
目を向けると楽しいです。

① スローダウン...と書かれた方が...最適という
かと思えます。かような漠然とした請求
を、今からよく知っている。

① ～をしますかと書くと思えます。

② 合言葉の数ほ5つくらい

③ 心のこもった方がいいかと。

上越市教育の日制定記念式典・上越市教育の日制定記念文化講演会実施計画(案)

1 目的

教育文化都市を目指し、「上越市教育の日」制定並びに上越市小中学校PTA連絡協議会創立10周年を契機に、上越市の教育・文化団体をはじめ、市民が参集し、記念式典や記念文化講演会を通して、学校・家庭・地域の連携等による教育推進の機運の醸成を図る。

2 主催・主管

主催：上越市教育委員会／上越市小中学校PTA連絡協議会／上越教育大学

主管：「上越市教育の日」記念事業実行委員会

3 会場 上越文化会館 大ホール

4 日程

| | | | | |
|---------------|-------|----------------|-------------------|-------|
| 13:00 | 13:40 | 14:00 | 14:30 | 16:00 |
| 市P連 10周年式典 | 休憩 | 教育の日制定記念 式典 | 教育の日制定記念 文化講演会 | |

5 内容

*進行 上越市教育の日記念事業実行委員会委員

(1) 上越市教育の日制定記念式典

- ① 開会 上越市教育の日記念事業実行委員会委員長 戸北 凱惟
- ② 上越市長あいさつ 上越市長 村山 秀幸
- ③ 来賓あいさつ 新潟県教育委員会教育長 高井 盛雄 様
上越市議会議長 佐藤 敏 様
- ④ 「上越市教育の日」制定宣言(「合い言葉」の紹介も含む)
上越市教育委員会教育長 中野 敏明
- ⑤ シンボルマークの表彰 上越市教育委員会委員長 村椿 正子

(2) 教育の日制定記念文化講演会

- ① 講師紹介 上越市教育の日記念事業実行委員会委員 大嶋 慶子
- ② 講演(70分)
演題 「尾木ママ流 共感子育て」
講師 教育評論家 尾木 直樹 氏
- ③ お礼の言葉 上越教育大学学長 佐藤 芳徳

上越市教育の日制定記念事業 スケジュール

| 月 | 実行委員会等 | 合言葉 | シンボルマーク | 式典・講演会等 |
|-----|--------------------------------------|----------------------|------------------------|-----------------------------------|
| 4月 | ・規則施行 ・設置要綱制定 | | | |
| 5月 | ・第1回実行委員会 (29日) | ・策定方針検討 | ・作成方針検討 | ・実施内容検討 |
| 6月 | | ・各委員が案作成 事務局へ提出 | ・募集要項等準備 | ・式典等詳細検討 関係者との調整 |
| 7月 | | ・各委員案を集約、 各委員に提示 | ・デザイン募集 (～25日) | |
| 8月 | 上 | ・事務局案作成 ↓ | ・作品とりまとめ | ↓ ・開催計画案審議 ・案内チラシ作成 |
| | 中 | ↓ | ・事前審査 | |
| | 下 | 第2回実行委員会 (27日) | ・合言葉案の審議 ・一次審査 | |
| 9月 | 上 | ・意見を基に修正 ↓ | ・二次審査・補正 | ・広報10/1原稿提出 ・来賓等案内 ・関係団体等案内 |
| | 中 | ↓ | ↓ | |
| | 下 | 第3回実行委員会 教育委員会定例会 | ・最終審議・決定 ・合言葉の報告 | ・最終審査・決定 ・マーク報告 |
| 10月 | 上 | ・広報11/1原稿提出 | ・広報11/1原稿提出 ・入賞者へ連絡 | ・広報10/1掲載 (一般参加申込等) |
| | 中 | | | ・参加申込締切 ・一般参加者通知 |
| | 下 | | | ・関係者打合せ ・開催準備 |
| 11月 | ・記念式典・記念講演会(1日：上越文化会館) | | | |
| | ・広報11/1掲載(合言葉、シンボルマークの周知) | | | |
| | ・関連事業：学び愛フェスタ(1日)、教育を考える市民の月間(1～30日) | | | |
| 12月 | ・記念事業、教育を考える市民の月間等 開催結果集約・報告 | | | |